

大橋川通信



2006.2
第9号

刊行/
大橋川コミュニティセンター



市民の愛する大橋川 より良い景観を形成するために

景観専門委員会を開催

大橋川改修をふまえ、大橋川周辺のまちづくりや、景観・水辺の活用等について検討する「大橋川周辺まちづくり検討委員会」の中に、景観に関する事項について専門的・技術的な助言を頂く「景観専門委員会」を設置しました。

第1回の景観専門委員会は、昨年11月18日(金)に「大橋川周辺まちづくり検討委員会」と合同で開催し、1月26日(木)に第2回景観専門委員会を島根県市町村振興センターで開催しました。一般傍聴者が多数参加するなど市民の関心の高さが伺えました。

大橋川の景観特性を 多方面から再認識

大橋川は、松江市民や多くの文人墨客をはじめ観光客にも愛されてきました。今後も松江市が「国際文化観光都市」として市民や観光客により愛され親しまれるためには、大橋川周辺の景観はどうあるべきかということも考えていく必要があります。

第2回景観専門委員会では、大橋川を取り巻く景観要素について、「観光・歴史」「生活・文化」「自

然」など、多方面から分析を行いました。

皆様のご意見を反映 しながら検討を行います

今後「景観専門委員会」は「大橋川周辺まちづくり検討委員会」の進行に合わせて進めていきますが、河岸の具体的なデザインや大橋のデザイン等について検討し、景観形成の基本計画をとりまとめる予定です。

市民の皆様へは委員会の内容などの情報をお伝えするとともに、皆様からのご意見を委員会に反映しながら検討していきます。

資料の閲覧場所

- 大橋川コミュニティセンター
- 松江市大橋川治水事業推進課
- 島根県斐伊川神戸川対策課
- 国土交通省出雲河川事務所

<http://www.nable.ne.jp/~comisen>



昨年11月18日(金) 県民会館にて「大橋川周辺まちづくり検討委員会」「景観専門委員会」の様子

景観特性区分 <大橋川の現況景観を特性毎に区分>


歴史・伝統を感じさせる区域①



大橋や老舗旅館が位置するとともに、それを引き立てるヤナギ並木が続くなど「国際文化観光都市松江」の歴史・伝統を感じさせる景観となっている。


生活の佇まいを感じさせる区域①

古くからの商業施設や民家が集まり、また、水辺ではシジミの選別が行われるなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。



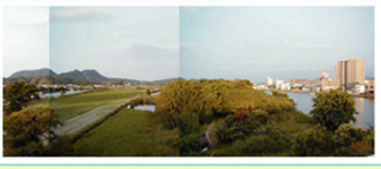
都市化を感じさせる区域①

比較的大規模な公共施設、マンション等が立ち並ぶなど、都市化の進展を感じさせる景観となっている。



自然の豊かさを感じさせる区域①

大規模な建造物も少なく、中の島や中州の水田・緑地が広がるなど自然の豊かさを感じさせる景観となっている。





都市化を感じさせる区域②




山陰合同銀行本店ビルに代表されるように、いくつかのビルが立ち並ぶなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域②

道路をはさんだ川沿いに昔ながらの民家や商業施設が立ち並び、また、市民が散策に利用する水辺の公園も位置するなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。




歴史・伝統を感じさせる区域②



出雲国風土記にも記載の残る多賀神社、「矢田の渡し」とともに、塩楯島には手間天神社があるなど歴史・伝統を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域④



長い間地域の文化的財産として受け継がれてきた「矢田の渡し」やその周辺の集落など、川とともに歩んできた生活の佇まいを感じさせる景観となっている。



都市化を感じさせる区域③



高層、低層の商業ビルが混在するなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域③



沿川には、道路、宅地、工場、商業施設、港などとともに、住民が釣りを楽しむなど、生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域⑤



昔ながらの集落が川沿いに形成されるとともに、水辺では住民が釣りを楽しむなど、生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

自然の豊かさを感じさせる区域②



川沿いの湿生植生やその背後の水田など、緑豊かな自然を感じさせる景観となっている。

第2回景観専門委員会の内容

委員会の内容

大橋川周辺の景観要素を「観光・歴史」「生活・文化」「自然」別に特性分析を行った結果について、委員からは、朝霧やシジミ漁などのように、天候や時間による景観も検討する必要があるのではないかといった意見がありました。

また、今後進めていく治水とまちづくりの事業は景観と密接に関わることであり、現況だけではなく失われた景観の創出や将来を見据えた視点も必要ではないかという意見もあげられました。

他にも、いくつかのゾーンで特性を捉えるのも重要だが、地域の人々が気に入っている個々の場所での景観も大切な要素であるなど活発な話し合いが行われました。



- <検討内容>
1. 大橋川沿川における現況の景観について
 2. 景観専門委員会の今後の流れと基本方針検討手順について

委員紹介

- | | | | |
|----------|---------------------|-------|-------------------|
| 欠席 坂田 俊之 | 日本技術士会 中・四国支部副支部長 | 藤岡 大拙 | 島根女子短期大学名誉教授 |
| 藤田 光一 | 国土技術政策総合研究所河川環境研究室長 | 松本 修宗 | 島根県景観アドバイザー(造園修景) |
| 吉田 薫 | 島根県景観アドバイザー(土木) | | |
- <敬称略五十音順>

検討1 現況景観の整理・分析

第2回景観専門委員会では、大橋川沿川の現況景観に関する整理・分析を次のような手順で行いました。

大橋川の現況把握調査(既存資料調査・現地踏査)

大橋川沿川の景観要素の抽出・整理

- ◆観光・歴史的景観要素
 - ◆生活・文化的景観要素
 - ◆自然面からみた沿川現況
- 現況把握調査の結果とともに、大橋川の景観要素を観光・歴史・生活・文化・自然の各観点から抽出・整理

大橋川の景観的特性の整理

- ◆景観特性整理
 - ◆景観特性区分 **上の図面**
- 抽出された景観要素を実際の「眺め」から検討し、区域ごとの景観特性を整理

景観特性を踏まえた事業実施のポイント

- ◆治水・まちづくり事業において注目すべきポイント一覧
- 各景観特性について、今後の治水・まちづくり事業によって注目すべきポイントを整理

検討2 景観専門委員会の今後の流れ

第1回(大橋川周辺まちづくり検討委員会と合同で開催)

- ◆委員会立ち上げ **平成17年11月18日(金)**
- ・松江市および大橋川周辺地域の現状について
- ・大橋川改修の具体的内容について

第2回

- ① 現況景観の把握・分析 **平成18年1月26日(木)**
- ・大橋川沿川の景観要素の抽出・整理
- ・大橋川の景観的特性の整理(様々な構図からみた特性の整理)

第3回

- ② 「景観形成にあたり配慮すべき事項」のとりまとめ
- ③ 景観形成における「基本方針」の検討

第4回以降

- ④ 景観形成における「基本計画」の検討
- ⑤ 形成される景観の評価手法の検討
- ⑥ 景観形成における「基本設計」とその景観評価

現地視察を行いました

平成17年11月30日、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」と「景観専門委員会」が合同で現地視察を行いました。

当日は、大橋川周辺まちづくり検討委員会から14名の委員が、景観専門委員会からは3名の委員が参加して現地視察を行いました。

今後、本体工事に着手する予定の尾原ダム現場や、工事が進む斐伊川放水路など、上流・中流の様子を見学し、下流の大橋川では船上から視察を行いました。



尾原ダム PR 館

現地視察箇所

尾原ダム(尾原ダムPR館)

斐伊川放水路

- ・呑口部
- ・開削部
- ・放水路ふれあいセンター
- ・神戸堰・神門橋
- ・妙見橋

大橋川



斐伊川放水路 (開削部)



妙見橋



大橋川

大橋川の今昔

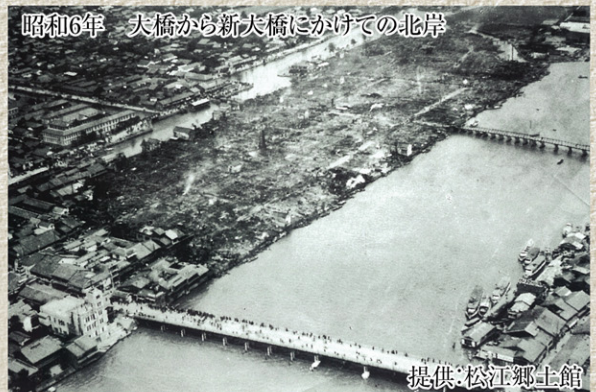
大橋川の見慣れた風景も時代と共に少しずつ姿を変えてきています。「大橋川の今昔」では、大橋川沿川の移り変わりをお宝写真と共に紹介しています。

写真手前の橋は第16代大橋、向う側は一代前の新大橋です。現在この区間は、柳と美しい夕日を見ることが出来る川沿いの道がありますが、大火の教訓を活かし川側からも消防活動が出来るように、区画整理でつけられたものです。

当時は木造家屋が軒を連ね、通りも狭く入り組んでいたため、この末次大火を機に区画整理が行われ現在の東本町が誕生しました。他にも中原大火や白濁大火といった火災による被害が多くみられました。

上段の写真は、明治以降松江で最大の火災となつた昭和6年「末次大火」の写真です。松江の歴史年表によると682戸が焼失し、約3千人が被災したといわれています。

大火がきっかけ 大橋北側の区画整理



大橋川コミュニティセンター

【開館日】年中無休(年末年始除く) 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】5台程度
〒690-0841 松江市向島町134-1
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623
E-mail:comisen@mable.ne.jp
ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>

*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。



周辺案内図

